

令和8年9月3日

受験者の皆様へ

神戸大学大学院工学研究科長

藤井 稔

令和9年度大学院工学研究科博士課程前期課程入試における出題ミスについて

令和8年8月24日に実施しました令和9年度大学院工学研究科博士課程前期課程入試の筆答試験において、下記のとおり実施に係るミスがあったことが判明しました。

受験者ならびに関係の皆様にご迷惑をおかけしましたことについて、深くお詫び申し上げます。

記

1. ミスが生じた専攻等

大学院工学研究科博士課程前期課程 市民工学専攻（一般入試）

2. ミスが生じた試験科目

筆答試験「土木計画学」設問4.（2）

3. ミスの内容

以下のとおり問題訂正を行ったところ、訂正内容の文言に不備な点があったことが判明しました。

【訂正前の問題】

- (2) 事業前後での所要時間の差 $\bar{Y} = \bar{X}_a - \bar{X}_b$ の標本分布の平均と分散を求めなさい。
また、標準化した検定統計量 Z を $n_b, n_a, \bar{X}_b, \bar{X}_a, S_b^2, S_a^2$ を用いて表しなさい。

【訂正した問題文】

- (2) 事業前後での所要時間の差 $\bar{Y} = \bar{X}_a - \bar{X}_b$ の標本平均の平均と分散を求めなさい。
また、標準化した検定統計量 Z を $n_b, n_a, \bar{X}_b, \bar{X}_a, S_b^2, S_a^2$ を用いて表しなさい。

【正しい問題文】

- (2) 事業前後での所要時間の標本平均の差 $\bar{Y} = \bar{X}_a - \bar{X}_b$ の平均と分散を求めなさい。
また、標準化した検定統計量 Z を $n_b, n_a, \bar{X}_b, \bar{X}_a, S_b^2, S_a^2$ を用いて表しなさい。

4. ミスへの対応

当該設問4.（2）及びそれ以降の設問4.（3）について、受験者全員を正解として取り扱います。

なお、答案をそのまま採点した結果と全員を正解とした結果を比べ、合否に影響がないことを確認しております。

以上